

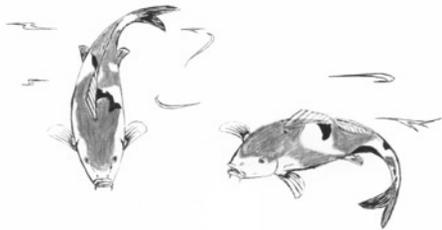
---

# 慈 恵

---



令和 5 年 No.83



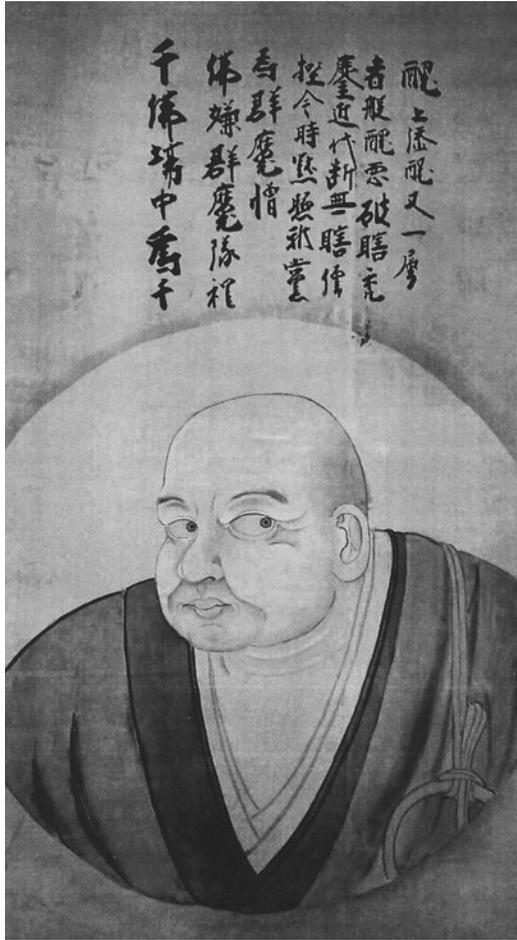
# 夏

宗教法人 慈 恵 院

付属 多摩犬猫霊園

# 鑑賞

## 「白隠禅師自画像」白隠筆



今回は慈恵院所蔵の白隠禅師の作品（複製品）の最後となります。白隠さんの自画像です。讃文をみてください。

千仏場中千仏の嫌と為り

群魔隊裡群魔の憎と為る

今時黙照の邪黨を挫き

近代断無の瞎僧を麤しにす

者般醜惡の破瞎忝

醜上醜を添う又一層

臨済宗の中興の祖と称された白隠禅師ですが、江戸中期の禅界の乱れ混沌としたあり様を痛烈に非難した文章であります。

伝統的な臨済禅が軽んじられ易行的な禅が横行していた禅界に歯止めをかけた。今ある臨済禅はすべて白隠門下の流れのものである。

ちなみにお弟子が白隠を評して「虎のごとくたんだんとにらみ、牛のごとくのっしのっしと歩くその姿を見ただけで震えあがった」という。



五重塔

1180年の平氏による南都焼き討ちで堂塔はほぼ全焼し



藤原氏とともに栄えた南都七大寺の一つ 興福寺には魅力的な仏像が集う

興福寺は藤原氏の氏寺として奈良時代以来各時代にわたって栄え、1998年(平成10)、ユネスコの世

界遺産に「古都奈良の文化財」として登録された、法相宗大本山である。

起源は、大化の改新で有名な藤原鎌足の念寺仏を祀った山階寺で、669年、天智天皇の発願によって建立。それが飛鳥に移されて厩坂寺となり、さらに710年の平城京遷都にともない、鎌足の子である不比等が今の地・奈良市登大路町にあたる平城京の外京「三条七坊」に寺地を移し、名も「興福寺」に改めた。奈良時代の前半にはおもな伽藍が完成して官寺につらなり、平安時代の南円堂造営で大寺の形が整う。広大な荘園が寺の経済を支え、神仏習合思想によって藤原氏の氏神である春日社と一体化し、聖俗界においていに力をふるった。



阿修羅像

だが、はやくも翌年から朝廷・藤原氏・興福寺が分担して復興事業に着手。草創期の考えを受けつぐというのが復興に対する興福寺の態度であった。このときに造られた仏像が多く伝わることで、興福寺は「鎌倉時代の仏像の宝庫」といわれる。

象徴的な建物五重の塔は今年7月に修復工事に入ります。

〈所在地〉

奈良県奈良市登大路町48

〈交通〉近鉄奈良駅から徒歩約10分

※小学館「古寺をゆく」参照

今回は清水寺

## 穏やかに年を重ねる 老齢猫を診察して

ドラセナ動物病院(足立区)

院長 藤田 光次

会社員時代の先輩から動物病院を継承し、いつの間にか約20年が過ぎようとしています。飼い主さんがお孫さんの世代に移っている

た38歳の最長寿が話題をさらっています。この長寿の動向をみても、今後とも老齢猫の来院が増え続けると予測されます。

現状を見ても、時の流れの速さに驚いています。開院当初から、犬よりも猫の来院数が多く、昨今は老齢猫の診察が圧倒的に増えています。

当院でも、23歳の猫を頂点に、平均寿命(15歳程度)を超える老齢猫の来院が増えてきています。「痩せてきた」、「寝ている時間が長くなった」、「水を飲む量が増えた」など、老化を疑う症状を訴えての来院です。

人と同様、猫の寿命も年々伸び続け、シニア世代(7歳以上)を超えて老齢期(11歳以上)が増えています。長寿記録をみると、我が国では26歳ですが、世界ではギネスブックに載っ

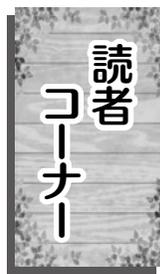
このような猫たちには、健康診断を兼ねて血液検査をお勧めし、その結果を基に、今後について飼い主さんと話し合いを進めます。特に、

「腎臓病」、「心臓病」、「糖尿病」など成人病が増加傾向にあり、早期発見の重要性を強調しています。

との意思疎通を心がけています。昨年末に、長期間、愛猫の慢性腎臓病治療を続けていた飼い主さんが来院され、「眠るように天国に旅立ちました。安らかな寝顔でした。」との報告がありました。穏やかで安堵した表情を拝見し、これまでの様々な思いがよみがえり、ほっとして肩の力が抜けたようでした。これからも、老齢猫が自然に年を重ねて寿命を全うしていくように、微力ながら、お手伝いしていこうと気持ちを新たにしたところです。

なかでも、「慢性腎臓病」の治療はエンドレスの場合が多く、飼い主さんと緊密に連携しながらの取り組みが課題です。病気の猫たちの「食事の与え方」、「薬の飲ませ方」、「排泄のトラブル」など、その苦勞を乗り越えるためのキャッチボールが欠かせないと思います。そのためにも、老齢猫の飼い主さんには、自宅での猫の様子、日常の動きなど、体調の変化にいち早く気づき、定期的な健康診断のための来院などを、強く働きかけています。生まれ備わった寿命を全うするために、病院側と飼い主さん





「深く反省」

墨田区 稲田 武士

女房が亡くなって三年。二匹のプードルと三人暮らし。三月四日、小学校時代の友人と飲んでペロベロになって船橋の駅のホームで転倒、やっと思いで家へ帰って来ました。フトンを敷くこともできず座イスで一夜を明かしました。次の日は日曜日だったので明日病院へ行こうと思っていたら夜息子がきてこれは異常だからと救急車を呼んで

病院へ。なんと左肩脱臼で三週間の安静とのこと。犬の散歩もできず部屋に新聞紙を広げてそこで大小便をさせていました。三週間がすぎレントゲンを撮ったら無事におさまっているとのこと。まだ痛みが残っていますが、リハビリをつづければ少しずつよくなってくるでしょう。七年六ヶ月医療費<sup>ゼロ</sup>の”健康優老人“がなんといいもの笑いです。深く反省して酒をやめようかと思っています。過去に何回反省したか。犬のためにこんなこそ本当に反省します。ウフフフ



夏じよみ

8月(葉月)	7月(文月)	6月(水無月)	当山行事
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 祝聖(朝課にて) 8/12・26</li> <li>● 本山盂蘭盆法要(本堂) 8/13 10時・13時</li> <li>● 別院盂蘭盆法要 8/12 10時・13時</li> <li>● 人形供養(本堂) 8/20 13時</li> <li>● 月例法要(本堂) 8/27 13時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 祝聖(朝課にて) 7/1・15・29</li> <li>● 本山盂蘭盆法要(本堂) 7/16 10時・13時</li> <li>● 別院盂蘭盆法要 7/15 10時・13時</li> <li>● 人形供養(本堂) 7/9 13時</li> <li>● 月例法要(本堂) 7/30 13時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 祝聖(朝課にて) 6/10</li> <li>● 人形供養(本堂) 6/18 13時</li> <li>● 月例法要(本堂) 6/25 13時</li> </ul>	<p>歳時記</p>
<p>処暑 8/23</p> <p>立秋 8/8</p>	<p>大暑 7/23</p> <p>七夕 7/7</p> <p>小暑 7/7</p> <p>半夏生 7/2</p>	<p>夏至 6/21</p> <p>入梅 6/11</p> <p>芒種 6/6</p>	



ながた内科クリニック(府中)

院長 永田 宏

TEL0411369077

## 悪化しやすい時季こそ要注意

### メタボと慢性腎臓病

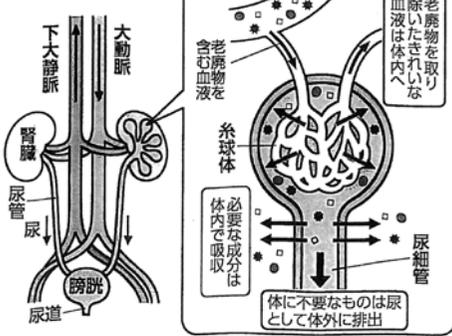
## メタボは慢性腎臓病の発症・進行の危険因子

腎臓は、余分な酸や老廃物・毒素を体の外へ排出する重要な臓器です。最も重要な働きは、毛細血管のかたまりである糸球体で血液をろ過し、尿をつくることです。これによって、老廃物や過剰な塩分などが排出されます。また、体液量や血圧を調整したり、赤血球を増やすホルモンをつくって貧血にならないようにし

たり、ミネラルのバランスや骨の健康を保つなど、多様な役割を担っています。

慢性腎臓病 (CKD) は、

■腎臓の構造と働き



このような腎臓の機能が低下した状態が慢性的に続く病気の総称です。その診断には、次の2つの基準が使われます。

① たんぱく尿 (微量アルブミン尿を含む) などの尿異常、画像診断や血液検査、病理検査で腎臓の障害が明らかにみとめられる。

② 血清クレアチニン値から算出した推算糸球体ろ過量 (eGFR) の数値が 60 ml/分 / 1.73m<sup>2</sup> 未満。

この2つのどちらからか、あるいは両方が、3か月以上続いている状態が慢性腎臓病です。なお、GFR (糸球体ろ過量) は糸球体が1分間にろ過する血液の量を

表しますが、正確な測定は困難です。腎臓の機能が低下すると、体の中にクレアチニンなどの老廃物がたまります。そこで、血液中のクレアチニン値、年齢、体重などから算出された推定値、eGFRを用いて腎臓の状態を評価します。

メタボリックシンドロームは、慢性腎臓病の発症につながるリスクの高い病気です。そもそもメタボは、

### ■メタボリックシンドロームの診断基準

腹囲  
男性 85cm 以上  
女性 90cm 以上  
内臓脂肪面積 100cm<sup>2</sup> 以上に相当

